

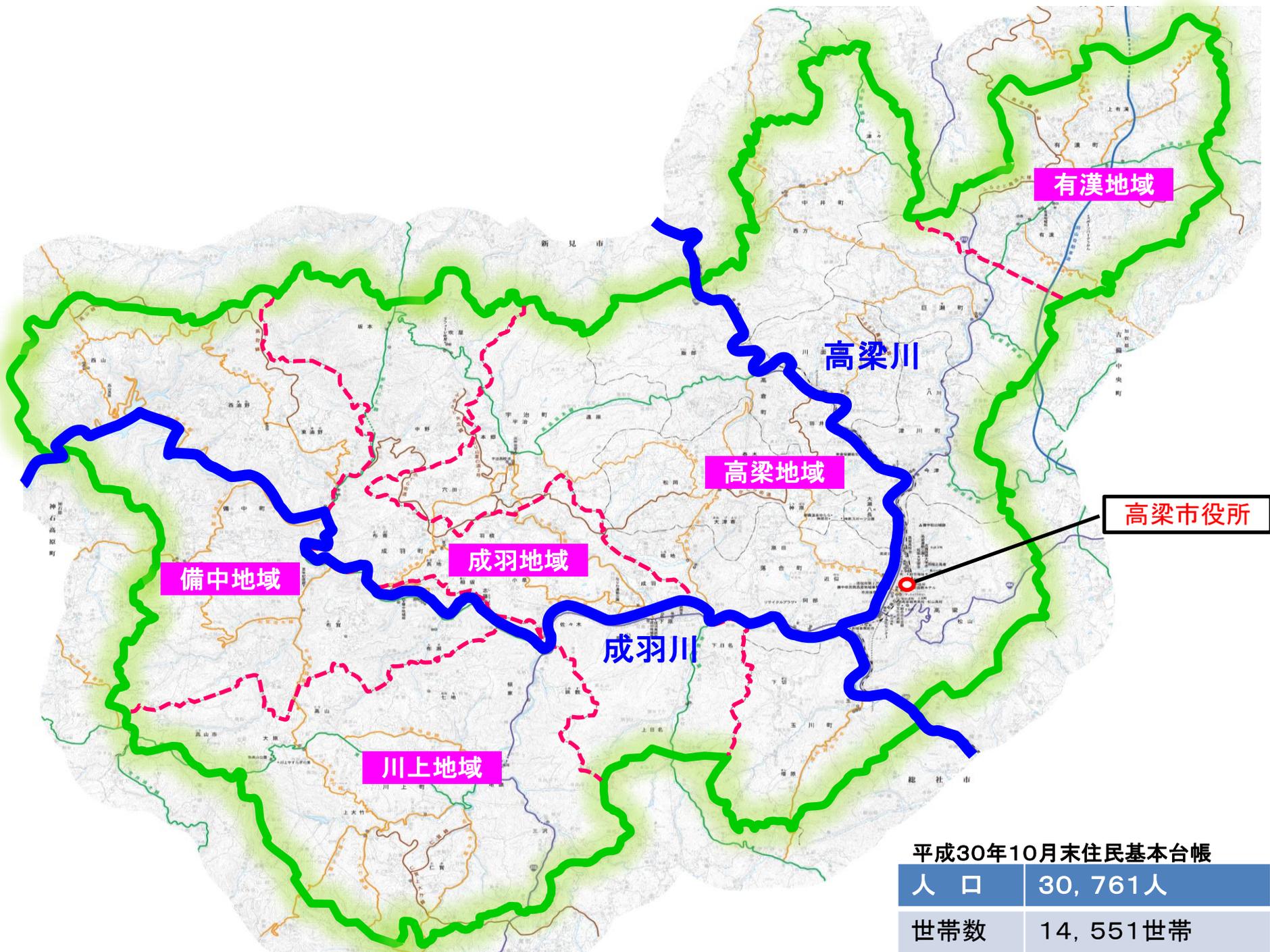
平成30年度 災害復旧促進全国大会

平成30年7月豪雨災害
高梁市の状況と復興に向けての課題

平成30年11月12日

岡山県 高梁市

雲海に浮かぶ天空の山城
「備中松山城」



平成30年10月末住民基本台帳

人口	30,761人
世帯数	14,551世帯



雨量・放流量・水位の情報

年月日	累計雨量(mm)					ダム最大放流量(t/s)			最高水位(m)			
	高梁	有漢	成羽	川上	備中	千屋・河本・小坂部(高梁川)	黒鳥(成羽川)	計	高梁観測局	広瀬観測局	成羽観測局	方谷観測局
平成30年7月5日 ～7日 3日間	341	382	358	377	374	1,229	2,461	3,690	6.17	※12.89	5.83	5.83

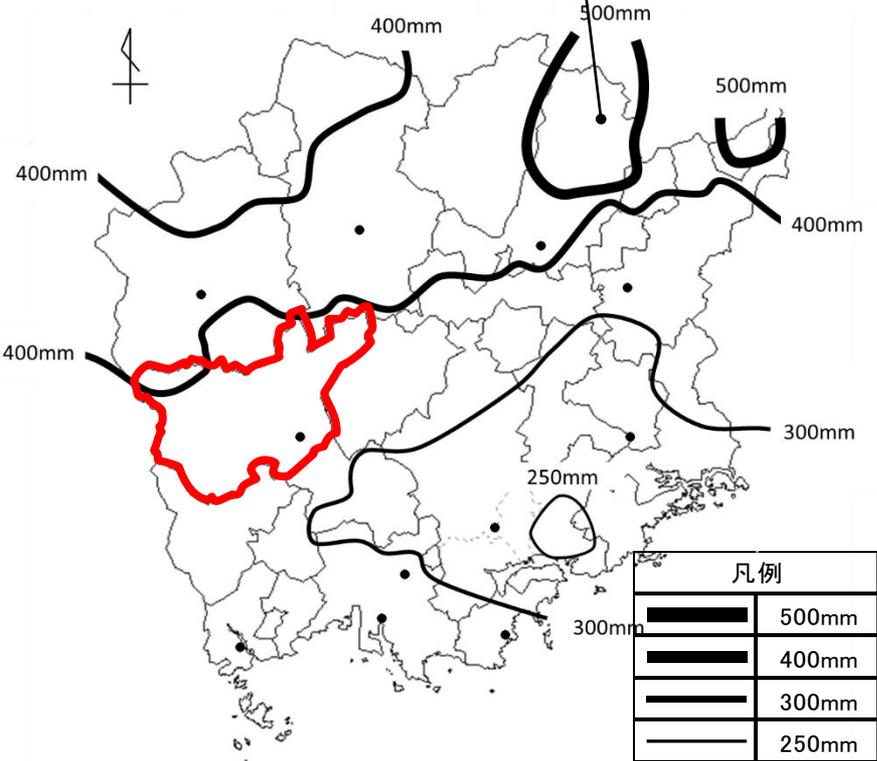
※12.89mまで計測した後に観測不能

○7/5～7/7 総雨量の状況(岡山県の雨量観測所)(単位:mm)

・岡山:301 ・玉野:316 ・和気:281 ・倉敷:306 ・水島:328 ・笠岡:367 ・高梁:341
・新見:403 ・津山:412 ・勝山:420 ・美作:319 ・倉見:565(県内最大)

○最大48時間雨量(気象庁の雨量観測所)(単位:mm)

25地点中、次の19地点において、観測史上最大降水量を記録した。



市町村	地点名	最大48時間降水量	これまでの観測史上最大	市町村	地点名	最大48時間降水量	これまでの観測史上最大
岡山市	岡山	307.0(+56.0)	251.0	岡山市	吉備中央	305.5(+45.5)	260.0
玉野市	玉野	284.0(+27.0)	257.0	井原市	佐屋	372.0(+56.0)	316.0
倉敷市	倉敷	260.0(+24.0)	236.0	矢掛町	矢掛	279.0(+9.0)	270.0
笠岡市	笠岡	335.5(+155.5)	180.0	高梁市	陣山	348.0(+42.5)	305.5
高梁市	高梁	314.0(+37.0)	277.0	新見市	千屋	358.5(+96.5)	262.0
新見市	新見	392.5(+188.5)	204.0	鏡野町	富	421.5(+124.0)	297.5
津山市	津山	373.0(+106.0)	267.0	鏡野町	恩原	409.0(+29.0)	380.0
真庭市	久世	400.5(+184.0)	216.5	真庭市	下皆部	388.0(+123.0)	265.0
岡山市	日応寺	256.5(+52.0)	204.5	奈義町	奈義	362.5(+70.5)	292.0
岡山市	福渡	284.5(+12.5)	272.0				

被害概要

◆人的被害（人数）

死者(関連死含)	行方不明者	重傷	軽傷
0	1	2	0

◆住家被害（户数） ※罹災証明書発行件数

罹災証明 発行件数	全壊	大規模半壊	半壊	半壊にいたらない 浸水・土砂被害	計
	59	82	186	157	484
うち浸水	50	82	181	117	430

◆公共施設被害（9月18日現在） 被害総数：2,422件 被害総額：82億6871万円

●土木施設

区分	市道	河川	計
箇所数	1,359	310	1,669
被害額(千円)	3,455,203	635,450	4,090,653

●上下水道施設

区分	上水道	下水道	計
箇所数	54	58	112
被害額(千円)	579,246	1,055,237	1,634,483

●農林施設

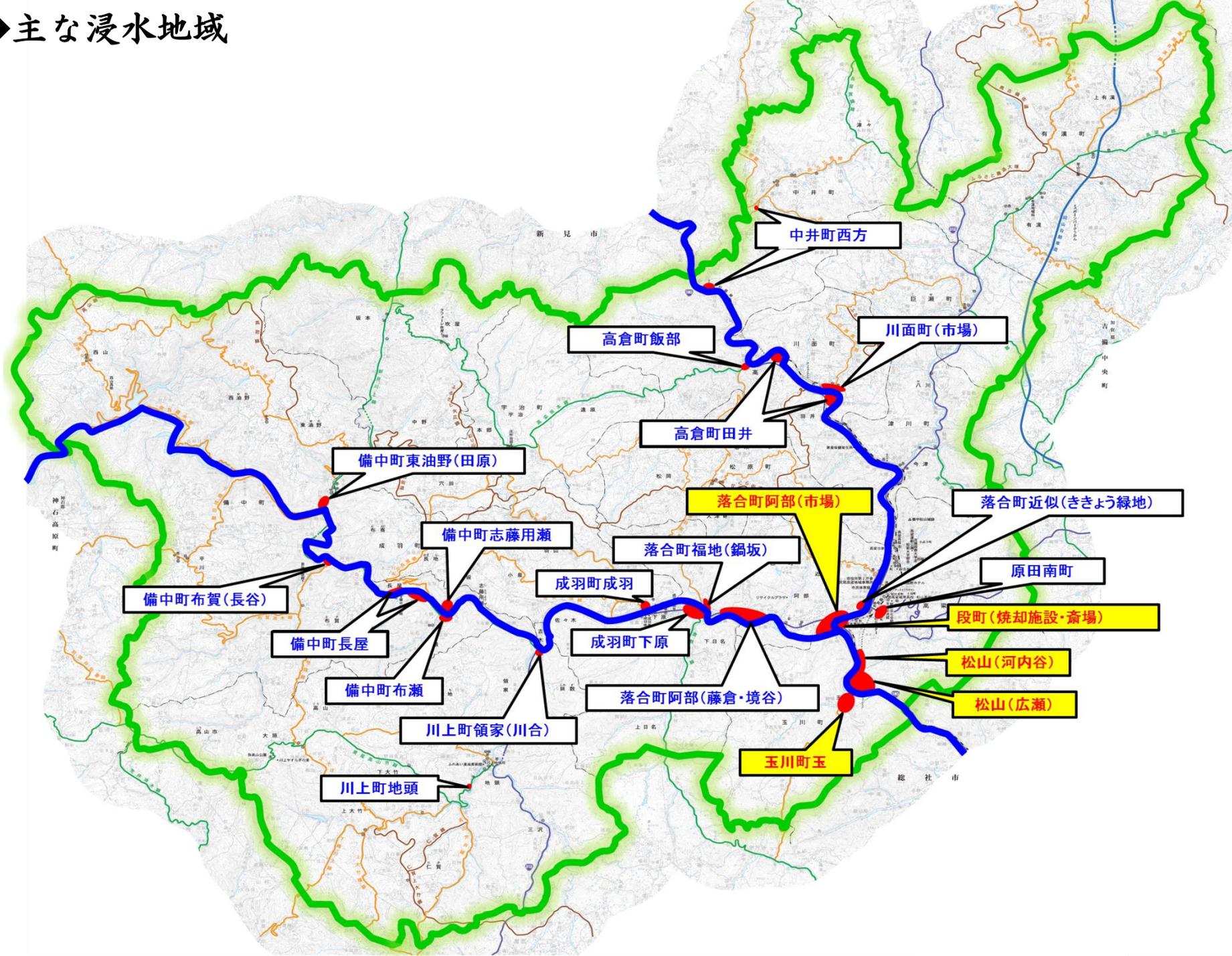
区分	農地	農業施設	土砂撤去	林地	計
箇所数	238	306	11	23	578
被害額(千円)	460,680	630,310	10,690	50,300	1,151,980

●その他公共施設

区分	文化・教育	観光	消防	病院	福祉	公園	公営住宅	※その他	計
件数	13	5	15	1	1	8	6	13	62
被害額(千円)	71,701	8,676	12,505	19,553	2,200	286,956	50,494	134,220	586,305

◆高梁地域事務組合関係施設【ごみ焼却施設】：被害額 8億529万円

◆主な浸水地域



平成30年7月豪雨による公共土木施設被害状況
(平成30年7月5日～梅雨前線豪雨)

被害報告集計表

H30.8.29 14:00

事務所	市町村	県事業		市町村事業		計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
備前	岡山市	35	708,169	—	—	35	708,169
	玉野市	11	283,505	3	16,000	14	299,505
	瀬戸内市	5	49,100			5	49,100
	吉備中央町	58	432,192	90	415,100	148	847,292
	計	109	1,472,966	93	431,100	202	1,904,066
東備	備前市	5	63,000			5	63,000
	赤磐市	26	375,000	13	70,600	39	445,600
	和気町	12	349,700	10	133,400	22	483,100
	計	43	787,700	23	204,000	66	991,700
備中	倉敷市	25	1,481,267	52	3,084,700	77	4,565,967
	総社市	54	849,610	28	731,339	82	1,580,949
	早島町					0	0
	計	79	2,330,877	80	3,816,039	159	6,146,916
	笠岡市	7	65,929	22	317,306	29	383,235

事務所	市町村	県事業		市町村事業		計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
高梁	高梁市	241	1,892,878	264	3,663,296	505	5,556,174

新見	新見市	242	1,673,594	248	1,244,218	490	2,917,812
	計	242	1,673,594	248	1,244,218	490	2,917,812
美作	津山市	138	2,852,476	132	760,255	270	3,612,731
	鏡野町	85	965,000	17	159,000	102	1,124,000
	久米南町	20	220,786	19	58,010	39	278,796
	美咲町	33	362,500	90	687,800	123	1,050,300
	計	276	4,400,762	258	1,665,065	534	6,065,827
真庭	真庭市	114	1,231,174	117	778,990	231	2,010,164
	新庄村	13	60,856	7	24,600	20	85,456
	計	127	1,292,030	124	803,590	251	2,095,620
勝英	美作市	75	554,627	73	353,700	148	908,327
	勝央町	5	38,000	14	38,600	19	76,600
	奈義町	15	116,500	12	120,000	27	236,500
	西粟倉村	18	170,600	8	95,000	26	265,600
	計	113	879,727	107	607,300	220	1,487,027
合計		1,377	16,207,163	1,310	14,001,393	2,687	30,208,556

◆公共土木施設



市道玉川落合線

流失前



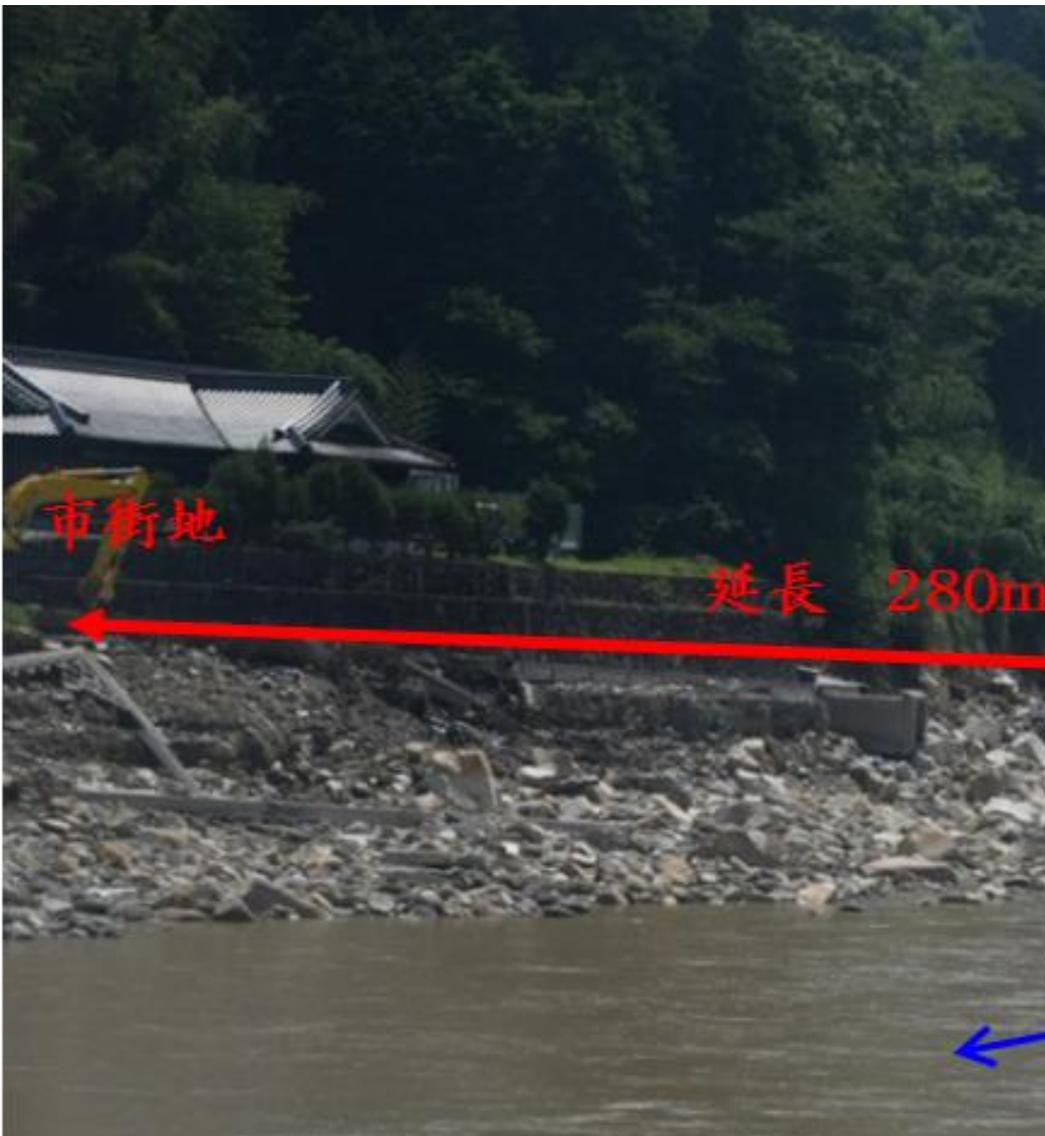
流失後 1



流失後 2



用瀬橋

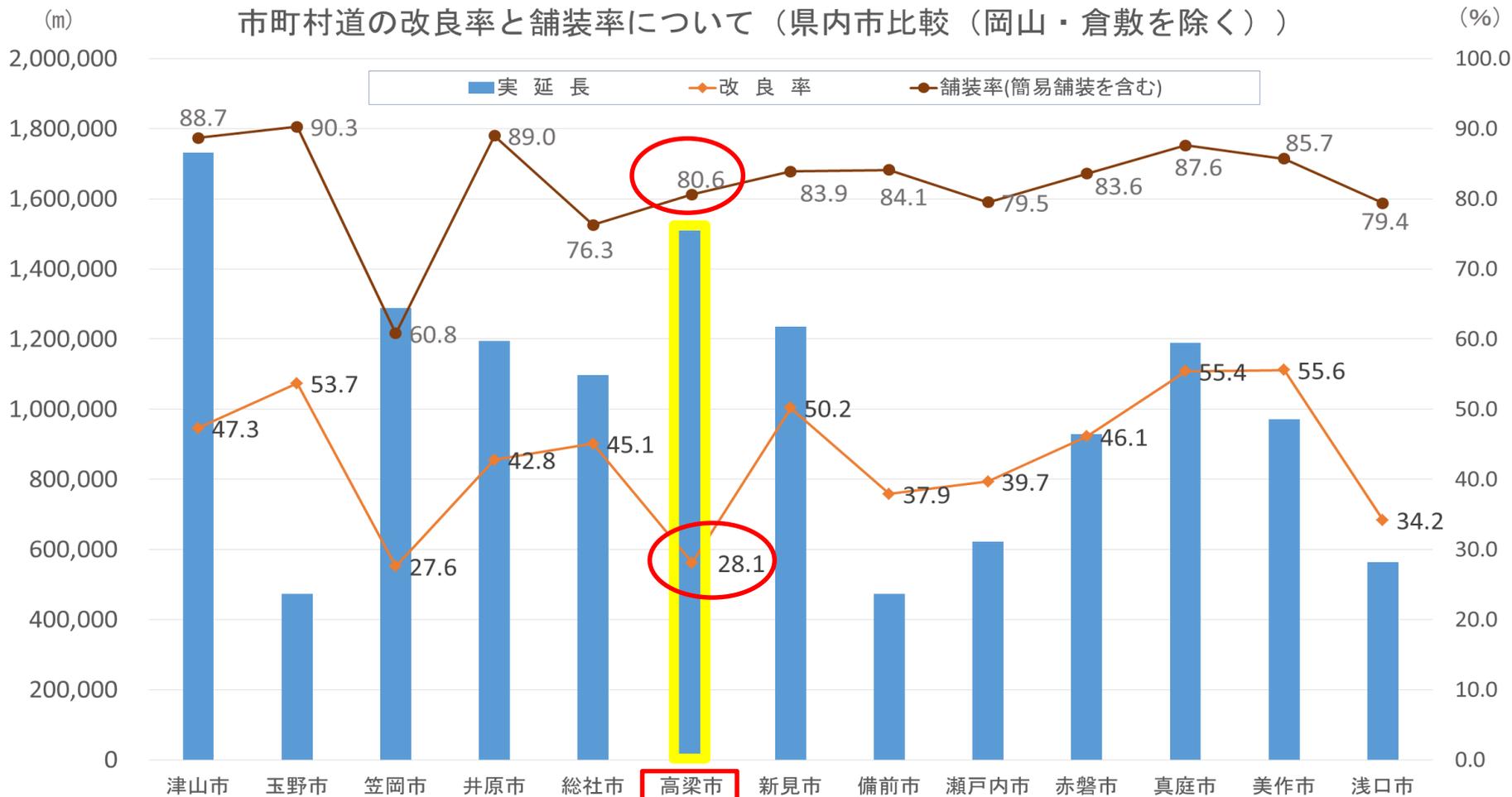


市道上小瀬1号線

岡山県内の市町村道の「改良率」と「舗装率」について

ポイント

- ・高梁市道の実延長は、津山市の次に長く（県内4位/15市）、改良率は、低い。（県内14位/15市）
- ・舗装率（80.6%）は、他市と同程度。（他市と比べてみると、“改良率が低く、舗装率が高い”）



被災後の復旧・復興状況

平成30年7月豪雨災害における災害査定スケジュール

査定名	査定日	件数	備考
4次査定	平成30年 9月 3日～ 7日	35	済
6次査定	平成30年10月 1日～ 5日	30	済
7次査定	平成30年10月15日～ 19日	36	済
8次査定	平成30年10月29日～11月 2日	35	済
10次査定	平成30年11月19日～ 22日	50	
11次査定	平成30年12月 3日～ 7日	50	
12次査定	平成30年12月17日～ 21日	43	
計		279	

公共土木災害復旧事業のスケジュール

	平成30年度										平成31年度	平成32年度	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
被災状況の調査と災害報告	→												
応急工事	→ (必要に応じて実施)												
査定準備(測量・査定設計書作成)	→												
災害査定(事業費の決定)			→ 9月3日～										
復旧工事の実施					→ (緊急度の高い箇所から着手)					→		→	

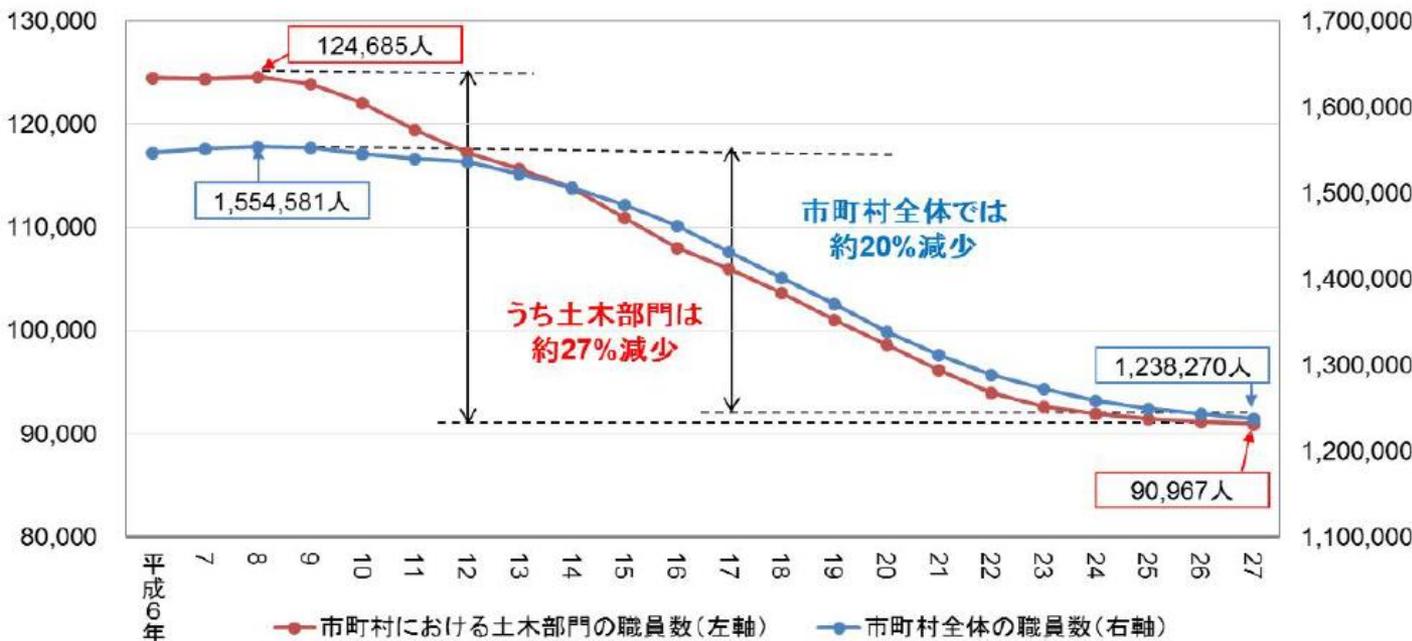
課題と今後の災害対策等に関する要望

市町村における維持管理体制(その1)

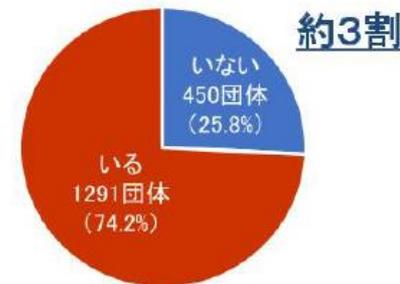
国土交通省 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会
技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会の資料より抜粋

- 市町村全体の職員数は、平成8年度から平成27年度の間で約20%減少していることから、市町村における土木部門の職員数のピーク時からの減少割合は、全体の職員数のピーク時からの減少割合よりも大きい。
- 市町村における土木部門の職員数は平成8年度の124,685人をピークに19年連続で減少しており、平成27年度は90,967人である。(平成8年度比約27%減)
- **技術系職員がない市町村の割合は約3割**に上る。

(人) 市町村における職員数の推移(市町村全体、土木部門)※1



技術系職員がない市町村の割合※1, ※2



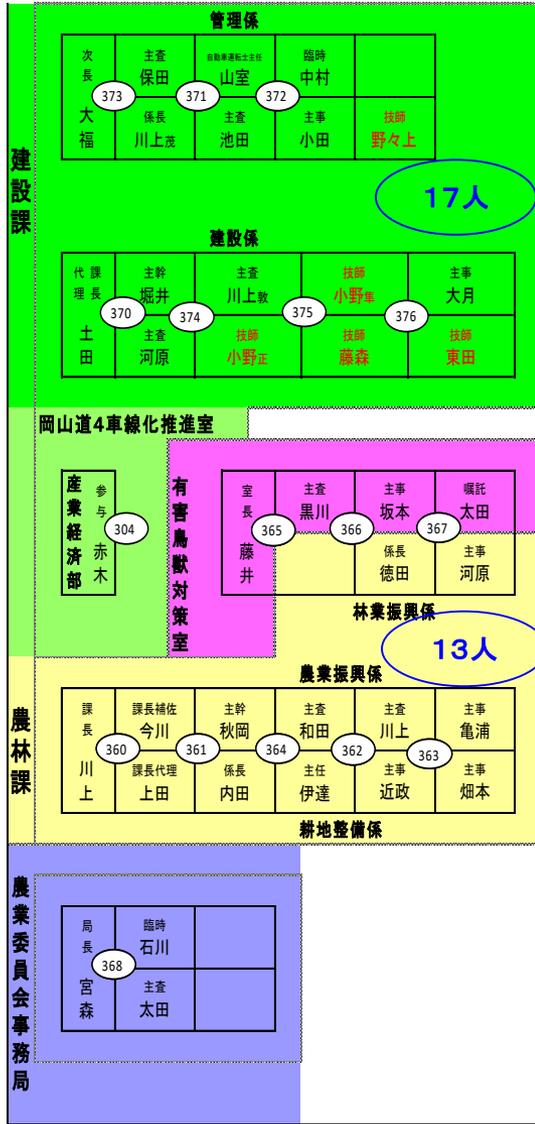
※1: 地方公共団体定員管理調査結果より国土交通省作成。また、市町村としているが、特別区を含む。

※2: 技術系職員は土木技師、建築技師として定義。H29年度の割合。

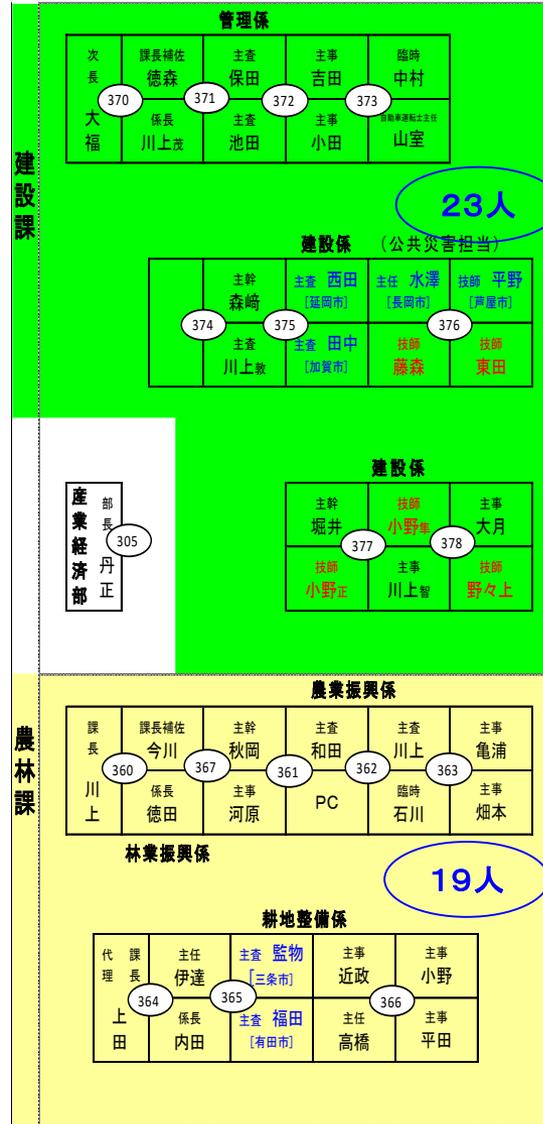
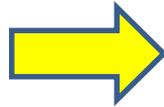
建設課・農林課 配席図

災害前 (7月1日)

災害後 (10月～)



建設課
6人増

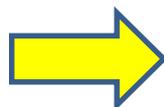


うち公共災害担当者：14人
(うち他市からの応援：4人)



職員1人あたり
約20件を担当

農林課
6人増



他自治体からの支援

派遣元		延べ 人数	うち 技術系 職員	支援の内容	
県内	岡山県	岡山県	52		避難所支援、物資仕分け、災害ゴミ、健康管理 など(7/11～8/7)
		岡山市	4		給水活動(7/7～18)
		玉野市	10	8	給水活動、土木技術職員派遣(9/2～29)
		瀬戸内市	4	4	土木技術職員派遣(7/30～8/19)
		吉備中央町	3		給水活動(7/9～17)
		奈義町	2		被災家屋調査(7/18～20)
県外	神奈川県	神奈川県	60		避難所支援、物資仕分け、被災家屋調査、災害ゴミ など(7/10～8/15)
	東京都	三鷹市	1	1	建築技術職員派遣(9/27～10/31)
	新潟県	長岡市	11		避難所支援、物資仕分け、被災家屋調査、支援策策定業務 など(7/11～31)
			1	1	土木技術職派遣(10/11～3/31)
		三条市	1	1	農業土木技術職員派遣(9/10～3/31)
	茨城県	筑西市 筑西広域消防本部	65		給水活動・物資支援(7/8～18)
	石川県	加賀市	3	3	土木技術職員派遣(①10/1～11/30 ②12/1～1/31 ③2/1～3/31)
	三重県	亀山市	2		給水活動・物資支援(7/9～17)
	和歌山県	有田市	1	1	農業土木技術職員派遣(9/18～10/19)
	兵庫県	芦屋市	2	2	土木技術職員派遣(①10/1～12/31 ②1/1～3/31)
	香川県	香川広域水道事業団	4		給水活動(7/8～12)
	徳島県	徳島市	4		給水活動(7/8～17)
	高知県	四万十町	4		給水活動・物資支援(7/8～14)
	宮崎県	延岡市	2	2	土木技術職員派遣(①10/1～12/31 ②1/1～3/31)
熊本県	山鹿市	4		給水活動・物資支援(7/10～14)	

公共工事の減少

地域の労働力人口減少

土木技術職の不足
建設業者・設計コンサルタントの減少

復興に必要なマンパワーの不足
+
県下で一番多い被害件数

支援
体制の
構築

高梁市

業者

人材確保
・育成

の可能性も

事業の3年以内の完了が課題に



ご清聴ありがとうございました